



皆龍寺報 とびら

2018年1月1日(月)発行
第37号
真宗大谷派 皆龍寺
山形市大字門伝100
TEL 023(643)3037

私たちは、自然の恵みに生かされている。おいしい野菜や果物、米やきれいな水。しかし時には、台風や地震などによって大変な被害を被るときがある。これは誰にも止められない天災だ。近代科学によって、その予告はある程度察知できるようになったが、未だくい止める手だてはない。

人間は、互いに助け合い協力しあって生きている。仕事も巡りめぐって相互扶助の関係を構成する。だから仕事に上下関係はない。しかし時折、相互扶助の関係を忘れてどこかの会社を倒産に追い込んだり、会社の利潤追求のみに走り、余裕がありながら従業員を切り捨てたりもする。また、人間は時には自分の欲望のために人を殺したりもする。

二十一世紀という時代(十二)

災害・人害・国害

国は、国民の安全・安心を守るために、国土を整備したり国民の生活の保障を履行したりしてくれる。しかし時には個人のために国有財産を流用したり融通をつけたりもする。

あるいは「国のために死ぬ」といって殺し合いにかり出したり、「国を守るためには少々の犠牲は仕方がない」といって人間を切り捨てたりもする。

恵みと被害は紙一重。だからこそ、この事にしっかりと目を据えて注意していかなければならない、と思う昨年でした。

住職 記

2018年(平成30年)

皆龍寺年間行事

1月25日 (11時~13時)	お講	【お当番 皆龍寺】
2月25日 (11時~13時)	お講	【お当番 皆龍寺】
3月25日 (11時~13時)	お講	【お当番 皆龍寺】
4月13日 (10時~15時)	永代経	【お当番 門伝上中組】
5月25日 (11時~14時)	お講	【お当番 門伝下新屋敷組】
6月25日 (11時~14時)	お講	【お当番 荻ノ窪組】
7月25日 (11時~14時)	お講	【お当番 皆龍寺】
8月13~15日	孟蘭盆会	
9月25日 (11時~14時)	お講	【お当番 村木沢組】
10月25日 (11時~14時)	お講	【お当番 新屋敷・柏倉組】
11月13日 (10時~15時半)	報恩講	【お当番 悪戸組】
12月31日	除夜の鐘	修正会

後記

北朝鮮弾道ミサイル日本上空通過や、座間市の事件、ラスベガスの銃乱射事件、イギリスのコンサート会場での自爆テロ、さらには衆院選でフラフラと落ち着き無い日本の政党。不安ばかりが増すできごとが多かったように思います。今のままで次の世代に対して、胸を張っていられるだろうか。このままではいけないと思いつつも、私に何ができるのかと苦悩する一年でした。

副住職 記

皆龍寺新執行部

この度、責任役員でいらつしやつた加藤昭様が辞任なされました。皆龍寺運営・護持にご尽力くださいましてありがとうございます。また、新たな総代として上町の清野彦四郎様をご承認いただきました。これまでも同様、皆龍寺護持のため、真宗興隆のためにご尽力賜りますようお願い申し上げます。なお、新責任役員は後日、総代会において総代の中から1名選出いたします。

新執行部

代表役員	榊	法	存
責任役員	榊	法	盡
総代	吉田 吉弘	飯野 典男	宮部 保夫
	神保 貴	清野 彦四郎	

住職の

手術体験談

このたびは 大腸ガン手術のために、皆様方にご心配おかけしまして誠にすみませんでした。この14日間の体験をお話ししてお詫びに替えさせて頂きたいと思えます。

12月1日入院。それから三日間断食修行。紙パックのドリンク二個から一個になり、そしてゼロ。食べなければ食べないで慣れてくる。12月4日手術日。手術の説明などを受け、いざ手術室へ。待つてくださっていたのは麻酔の先生。また麻酔についての説明を受ける。いよいよ手術台に乗る。ずいぶん狭い台だ。「ハイ、背中を丸くして」と言う先生の声。麻酔の注射が背骨に突き刺さる。また仰向けに寝ると、酸素マスクをつけられる。だんだん意識が遠ざかる。遠ざかる意識の中で「死んでいくと違ってこんなのかな」などと思つて・・・

命あるものはすべて死ぬる。そんなことは言われなくとも知っておる。しかし、まさか、まさか俺が死ぬとは、思わなんだ。ああ、知らなんだ。滑稽じゃ、実に滑稽じゃ。これが俺の人生か。

「法存さん。わかる。」という妻の声が遠くで聞こえる。「なんかあつたのかな」と思いそうつと目を開けた。五時を指していた。(今日はゴミの日か?) 第一声「生ゴミ出さなきゃ」と。ガン発覚から今日までの記憶が飛んでいる。しかし体が動かない。だんだん自分が置かれていく境遇を思い出している。でも、麻酔が効いているらしく全く痛みがない。そのまま集中治療室へ運ばれ手術台からベッドへとスライドして移される。酸素マスクはつけられたまま。胸にはたくさんの心電器具の線、両腕には点滴の線、テレビで見ると同じだ。ちよつとうとうとする、突然、ピンポンピンポンのナースコール。私と同じ様に手術を受けた人がい

たんだ。またピンポンピンポン。時計をみたら、十五分ごとに呼び出されている。いい加減にしてほしい。いつしかピンポンピンポンが遠くに聞こえるようになって、ようやく眠れた。

病院という窓。

そこから苦悩する人々と、手助けをする人々が見える。手術後の集中治療室。

隣から聞こえるナースコールの音。何度も何度も繰り返されるナースコール。

朝、「御気分はいかがですか。夕べは眠れましたか」の声がけに、「お隣さん、大変でしたね」と応えた。

看護師さんは「ええ」のひとつこと。それですべて通じた。

でも、夕べの私の心には二つあった。

「私よりもっともっと大手術だったんだ」と思うと同時に

「そんなに何度も呼んでも手はあるわけじゃ

皆龍寺

サンガスクールへのお誘い

皆龍寺では小学生や園児がお寺に集まって、仏様のお話を聞いたり、おいしいものを作ったりしながら、中学生や高校・大学のお姉さん・お兄さんに遊んでいただいています。名前と住所を登録していただきますと、案内状をお送りしますので御登録ください。



退屈の虫がさわぐ。十二日、先生からの家族と一緒に説明会。私にとってはまるで裁判官の判決を待つような心境。無事、無罪判決を獲得する。

十四日に退院してきました。まだ無理しないように、と家族にいたわってもらっています。

皆龍寺 女のつどいのお誘い

女のつどいでは、花見や新年会・小旅行などの会のほか、報恩講・永代経などの寺の行事を支え、お磨きやお斎の献立にも御協力いただいています。女性同士のお茶も楽しいひと時です。

ぜひ、ご参加ください。年会費は5,000円です。